



創造みらい半田 岩田 玲子

広報の改善を問う

市民にとって大切な情報を得る手段であるホームページを、神戸市のイライラしないホームページ等を参考に、見やすいホームページへと改善する考えはありますか。

必要とする情報まで簡単にたどり着け、かつ利用しやすいページ作りを目指していきます。

市民に親しまれるよう、わかりやすいホームページを作成する考えはありますか。

わかりやすく見やすいため、バス情報発信システム等の導入を予定しています。

高齢化により、市報の配付が難しい地域が出てきています。今後も高齢化は進み、配付方法を検討する時期と考えますがいかがですか。

実際に配付する町内会長や隣組長には、市報配付が負担との声もあることから、今後も区長連絡協議会と意見交換

昨年豊橋市では、自治区の負担を減らすことを目的に、市報を月に2回から1回に減らしました。隣の常滑市も月に1回の発行です。市報の発行回数を見直す考えはありますか。

どのような課題があるかを精査し、慎重に検討していきたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長のために

保育園の年度途中から増えてくる早延長の需要に、早延長保育士の不足し、正規職員が対応する現状が続いています。子どもの健やかな成長のために、早延長保育士の確保が責務であると考えますがいかがですか。

保育士等の確保が課題であると考えています。

保育士の資格がなくとも保育補助の仕事が出来ることを強調する等募集方法を改善する考えはありますか。

募集案内をわかりやすく掲載し、保育士養成校への訪問回数を増やす等のPRで、更に保育士確保に取り組めます。

を行うっていきます。



公明党 鈴木好美

シティプロモーション

シティプロモーション戦略で市外に何をアピールしていますか。

「情熱、蔵出し、半田市」を合言葉に観光分野とも連携を図り、半田市という名前を知ってもらおう取組みと、本市の暮らしやすさをアピールしています。

市外へのアピールにより認知度は上がりましたか。

市制80周年を絶好の機会として、山車まつりやNHKのど自慢の開催など、確実に認知する人は増えたものと考えています。

山車・蔵・南吉・赤レンガのドラマ化をマスメディアにアピールする考えはありますか。

テレビ局などのマスメディアには強い発信力があり、番組等で取上げられた場合には、高い効果が期待できます。今後は、本市の地域資源を題材としたドラマも提案に含め、マスメディアへの営業活動も行います。

市職員がドローンパイロット養成講座を受講し、観光PRに活用する考えはありますか。



ドローンの有効活用

市職員がドローンパイロット養成講座を受講し、観光PRに活用する考えはありますか。

ドローンを操作し、万が一、操作ミスや機器の不具合、事故のリスクを考慮すると、専門業者に委託することが最良と考えます。

災害時以外のドローン活用の幅を広げる考えはありますか。

ドローン活用については、災害時以外にも観光PRや物流、インフラの維持管理など多様な目的に活用が期待されています。今後、市が行う業務において、費用対効果などの観点から、ドローンの有効性が総合的に認められた場合には、それぞれの分野での活用がされるものと考えています。

総務省は「統計とは行政施策の企画・立案・評価のための基本的な情報であり、政策効果の事前・事後の評価を行うための重要な指標」としていますが、半田市では各統計資料を利用し、どのような行政施策を企画立案していますか。

統計数値の活用は積極的に進めています。感覚的なことも重視し、行政運営を行う上で必要です。

これまで行ってきた各事業の政策評価を統計数値から分析等を行っていますか。



創造みらい半田 中村宗雄

統計数値から見た半田市の市政運営とその課題

総務省は「統計とは行政施策の企画・立案・評価のための基本的な情報であり、政策効果の事前・事後の評価を行うための重要な指標」としていますが、半田市では各統計資料を利用し、どのような行政施策を企画立案していますか。

統計数値の活用は積極的に進めています。感覚的なことも重視し、行政運営を行う上で必要です。

これまで行ってきた各事業の政策評価を統計数値から分析等を行っていますか。

統計数値からは政策の事前及び事後評価はしていません。しかし、市内評価と市民評価委員による外部評価を実施しています。

知多半島五市五町と知多全体の現在の状況を示す統計資料「知多半島の統計」から見た、榑原純夫市長が市政運営

を担った10年間の成果や評価について、いかがお考えですか。



「知多半島の統計」にあるデータを経年で見ると、人口や産業面で衰退の傾向が表れていますが、半田市が変わらず知多半島の中心的な都市と考えています。平成21年に誕生した榑原純夫市長のもと、第6次総合計画に設定した97の基本成果指標のうち、84指標（86・5%）が計画策定時より改善しており、また市民の皆さんの実感を指標にしたものでは、33指標のうち32指標（97%）が良くなっており、着実にまちづくりが進展したものと評価しています。

榑原純夫市長の任期である平成33年6月までに半田市の複雑かつ重要な問題に対し、具体的に何をどこまで行っていくか考えますか。

今後2年間で更なる「教育・子育て環境の充実」、「地域包括ケアの構築」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った取組み、外国人の増加に対応する「多文化共生の推進」を行っていきます。

今後2年間で更なる「教育・子育て環境の充実」、「地域包括ケアの構築」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った取組み、外国人の増加に対応する「多文化共生の推進」を行っていきます。

今後2年間で更なる「教育・子育て環境の充実」、「地域包括ケアの構築」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った取組み、外国人の増加に対応する「多文化共生の推進」を行っていきます。

今後2年間で更なる「教育・子育て環境の充実」、「地域包括ケアの構築」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った取組み、外国人の増加に対応する「多文化共生の推進」を行っていきます。

今後2年間で更なる「教育・子育て環境の充実」、「地域包括ケアの構築」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った取組み、外国人の増加に対応する「多文化共生の推進」を行っていきます。

